

私が中高一貫教育の授業について一番良かったと思ったことは、高 3 の受験生になったタイミングから数学の演習や総復習が行える点です。これは中高一貫という特性を活かした授業進度のおかげだと感じました。またそのほかには、古典や化学をはじめとして様々な授業で小テストをこまめに行ってくれるので、自分が現在の授業で特にどこが苦手なのかがよく分かったのでそこが定期テストの勉強の際などにすごく助かりました。

また、茨城中高における課外授業に関してですが、私は中学 3 年生の時から主に主要 3 教科の希望課外を受講しました。私は日常生活の中で勉強をしていくことが苦手なタイプでしたが、それぞれ課外では担当の先生方が大学受験を意識して行ってくれたので、高 3 になるまで塾に通いしませんでした。志望校判定は常に C 判定以上は出ていました。私は家で勉強するのが苦手なタイプだったので学校が閉まるまで勉強した後の勉強場所として塾に通いましたが、家でしっかりできる人なら課外授業と授業の復習だけで塾に通う必要はないと思いました。

そのほかの学習指導についてですが、英検 3 級から準 1 級までを受けた時などは、それぞれ 2 次試験の面接の練習に何度も付き合ってくださいました。そのおかげで取得できた英検の資格は東北大学の AO II 期を受けた際に役立ちました。そして進路指導に関してですが、高校 2 年生の時に歯学部を目指したいと相談した先生が、次の日には国立大学の歯学部を調べてまとめたものを印刷して渡していただき、すごくありがたかったのを覚えています。また、AO II 期を受けた時には志望理由書、過去問の添削、そして面接の練習まですべて手厚くサポートしてくださいました。この時にやはり先生方の豊富な経験があるからこそなせる技なのだと感じました。

部活動に関する茨城中高の大きなメリットはやはり中学生と高校生が近い場所で練習することによる「縦のつながり」だと思います。通常関われない 3 個上の先輩に声をかけてもらえた時はうれしかったです。研修旅行に関してですが、中学のときで特によかったと思ったことは自分たちで旅行のプランを立てられたということです。京都の観光名所などを自主的に調べ、地理的、歴史的にどのような場所なのかに対する理解がより一層深まった思い出があります。その経験が生きて高校生になってから沖縄に研修旅行に行った際にも、自分たちで一日のプランが満足のいく形で実現しました。文化祭で特に印象に残っているのは高校 2 年生の時に開会式で行われた 30 秒のクラスの出し物紹介です。私はあまり人前に立つ機会はなかったので、人前で奇抜な格好をして踊ったことはすごく印象に残る出来事でした。クラスマッチで自分が個人的に良かったと思った点は、行う競技を生徒の投票で決めることです。そこで生徒たちの自主性が確保されているのでより一体感が生まれたのかなという風に感じました。

私が茨城中高で一番良かったと感じたのはやはり大好きだと思える先生方がたくさんいるということです。参考書を 10 回読んでようやくわかるようなことをほんの十分くらいの説明で理解させてくれる先生や、もうその教科を取ってないのに放課後に 2 時間半も廊下で討論してくれる先生など、どの先生も個性的でした。また、各教科に関して先生が比較的たくさんいるので質問に行くと基本的に受け答えをしてくれる先生がいらっやったことも助かりました。そして受験期に時に役立ったのですが、「赤本が豊富に取り揃えてある」というのも茨城高校の大きな魅力の一つだなという風に思いました。書店に売ってないような昔の赤本も置いてあるため、進路を決める時などすごく参考になると思います。

私はこの茨城高等学校で尊敬できる友人にたくさん出会えることができました。ただ大学だけでなく、その先の目的を踏まえて勉強し、進路を決定して進んでいく友人たちの姿は何度も私の勉強のモチベーションを上げてくれました。それぞれ分野は異なりますが、私は大学で研究に力を入れたのちに海外に留学して自分の視野を広げつつ、歯学という医療の中の 1 分野のみならず、分野の垣根を超えて医療全体で活躍できる人材になりたいと考えています。その際に自分の尊敬できる友人やこの茨城高等学校でお世話になった先生方に胸を張れるように社会貢献につとめることができるように精進します。